

講義科目名称： 体育講義

授業コード： 51102400

英文科目名称： Physical Education Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
服部 イツ子			
金3			
添付ファイル			

科目の概要	体育と講義の関連性において「環境問題」、「栄養問題」、「体の仕組みや基本的な動き」、「人口問題」、「性差問題」、等々私たちの心身の健康問題に基づいた中での学びであることを踏まえ自身の健康観や運動の重要性、性差についても気づき、日常の実践活動に生かすことを目標とする。
授業の内容	<p>1 The introduction of a class 講義説明 健康を推進するために必須条件を学ぶ。水の問題、人口の問題等について検証する。</p> <p>2 世界の健康概念について 世界の健康観から健康に対する考え方が国によってどう違うのか考える。</p> <p>3 日本の健康観及び少子高齢化について考える。 労働人口、社会保障の問題。</p> <p>4 小テスト・グループ討論 健康と運動、栄養について健康を推進、増進させ健康寿命の延伸について運動と栄養の分野から考える。「体力とは何か」について。 ※グループディスカッション</p> <p>5 4についての学びと同時に環境が健康にどのような影響を及ぼすのかを考える 4についての学びと同時に環境が健康にどのような影響を及ぼすのかを検証する。</p> <p>6 健康と運動、健康問題について 健康を自然界との深いつながりの中で、見つめ考え、思考を深めていくことを検証する。</p> <p>7 健康と運動、環境問題についての総論 健康と運動、環境問題についての総論と授業のまとめを検証する。 LGBTQを健康問題と移行して考える。</p> <p>8 1～7までの授業のまとめ 講義内容のまとめを検証し、テストを実施。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>※健康と運動の概念について、自身の考えや社会の動きについて学び健康観を深める。</p> <p>※身体の仕組みを知る中で、どのような運動や栄養が身体の体力づくりに繋がるのかを知り、日常の生活に生かす。</p> <p>※環境問題について学び、社会の出来事に目を向ける視点を育む。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】 講義</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <p>【その他特記事項】</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 【割合】</p> <p>小テスト・グループ討議 20% 受講態度 20% 定期試験 60%</p>
教科書・テキスト	授業者が作成するプリント資料
参考書	講義中や資料プリントによって随時紹介
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>新聞をよく読む</p> <p>運動・健康・環境問題等々の本を積極的に読む</p> <p>社会の出来事に興味関心を持つ</p>
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻厳禁（5分以上は認めない） 携帯電話厳禁・前向きに授業参加（私語をつつしみ、寝ないで90分） 板書はしっかりノートにとり、出された学習資料は各自で保管してください。
オフィスアワー	
課題に対するフィードバックの方法	授業内に返却する
実務経験	
その他	